



本製品の利用目的について

本製品は、高性能コンピュータの平和利用に関する日本政府の指導対象となっています。ご使用になるときは、以下についてご注意願います。



1. 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
 2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
 3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
 4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。
- 弊社相談窓口：ファストコンタクトセンター 電話番号：03-3455-5800

安全にかかわる表示について







本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。

本書には本機のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、すなわち危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本機内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。


本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれ用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
 注意	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。


	注意の喚起 この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例: 感電注意 
	行為の禁止 この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例: 分解禁止 
	行為の強制 この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例: プラグを抜く 

(本書での表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	<p>指定以外のコンセントに差し込まない</p> <p>電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。</p>	<p>⚠ 注意</p>

安全上のご注意 - つづき -

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

**注意**

1人で持ち上げない

本機の質量は最大で33kgです。本機を持ち運びは2人以上で底面をしっかりと持ってください。1人で持ち上げると腰をいためるおそれがあります。また、本機を運ぶときはフロントマスクに手をかけて持ち上げないでください。フロントマスクが外れ、装置を落としたり、フロントマスクを壊したりするおそれがあります。

指定以外の場所に設置・保管しない

本機を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所
- 直射日光が当たる場所
- 不安定な場所

腐食性ガスの存在する環境で使用しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫酸など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

電源プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない


インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本機やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。





- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

1人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する

ラック用のドアやレールなどの部品は2人以上で取り付けてください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落としたり破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。



お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項


警告

自分で分解・修理・改造はしない

本機の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

光ディスクドライブの内部をのぞかない

光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目にはいると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

本書およびラベルで使用する記号とその内容




注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止


	本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近い近づけないでください。発火のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

安全上のご注意

全般的な注意事項

**警告**

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない











































































































































本機は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本機を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。


煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音が生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔や光ディスクドライブなどのすきまから金属片や針金などの異物を使用したまわないでください。感電の危険があります。




警告


リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリー、リチウムイオンバッテリーを取り外さない

本機内部にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーもしくは、リチウムイオンバッテリーが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーもしくは、リチウムイオンバッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずに買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。

電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本機内蔵用オプションの取り付け/取り外し、本機内ケーブルの取り付け/取り外しは、本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本機内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったら、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**注意**

高温注意

本機の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ本機内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。


中途半端に取り付けない



電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

コネクタカバーを取り付けずに使用しない



内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項



**注意**

**雷がなったら触らない**



雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本機には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

**ペットを近づけない**


本機にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本機内部に入ると火災や感電の原因となります。

**装置の上にものを載せない**



本機が倒れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

**光ディスクドライブのトレイを引き出しのまま放置しない**

引き出したトレイの周かほこりが入り、誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。


**ヘッドフォンを耳にあてたまま接続しない**



ヘッドフォンを耳にあてたままヘッドフォンジャックに接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。



**巻き込み注意**

本機の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたリしてけがをするおそれがあります。

電源・電源コードに関する注意事項


警告

ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アース線をガス管につながらない

アース線は絶対にガス管につながらないでください。ガス爆発の原因になります。

⚠ 注意

指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本機の電源仕様と合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

クラシオのアース線付きACコードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につく前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

電源ケーブルを持って引き抜かない

ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

指定以外の電源コードを使わない

本機に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

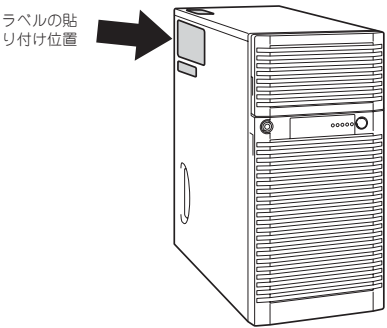
- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードに束ねない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本機に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める品物やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本体に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本体に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。



製品の譲渡と廃棄について

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなってもハードディスクドライブ上に残っている場合があります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(共に有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- 第三者への譲渡について**
本機を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書および添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントも一緒にお渡しく下さい。
- 消耗品・本機の廃棄について**
本体およびハードディスクドライブ、光ディスクドライブ、オプションのボード、バッテリーなどの廃棄については各自自治体の廃棄ルールに従ってください（なお、本体添付の電源コードについても他の装置への転用を防ぐために、本体と一緒に廃棄してください）。詳しくは、各自自治体へお問い合わせください。本体に搭載されているバッテリーの廃棄（および交換）についてはお問い合わせの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

装置の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お問い合わせの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

箱を開けてから装置を使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

Step 1 添付品を確認する

- 本体
- EXPRESSBUILDERパッケージ*2
- 保証書
(本体梱包箱に貼り付けられています)
- ユーザーズガイド*1
- セキュリティキー(本体に貼り付けられています)
- ACコード
- スタートアップガイド(本書)
- SDR UPDATE TOOL
- ご使用時の注意事項
- ソフトウェアパッケージ一式*3

- 重要

- 添付の「EXPRESSBUILDER」DVDは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。
 - 上記添付品は、本体のみのものです。BTO(工場組み込み出荷)製品などは「組み込み製品・添付品リスト」をご確認ください。

*1 ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」DVDの中に格納されています。これを参照するには、Adobe Readerが必要となりますので、あらかじめご使用のPCへインストールしておいてください。

*2 EXPRESSBUILDERパッケージの内容についてはEXPRESSBUILDER内の添付品一覧を参照してください。

*3 ソフトウェアパッケージの内容については、ソフトウェアパッケージ内の構成品を参照してください。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

本体に内蔵用のオプションを取り付けます(オプションを購入していない場合や「BTO(工場組み込み出荷)」で本製品を購入されたお客様はステップ3へ進んでください)。

- 参照

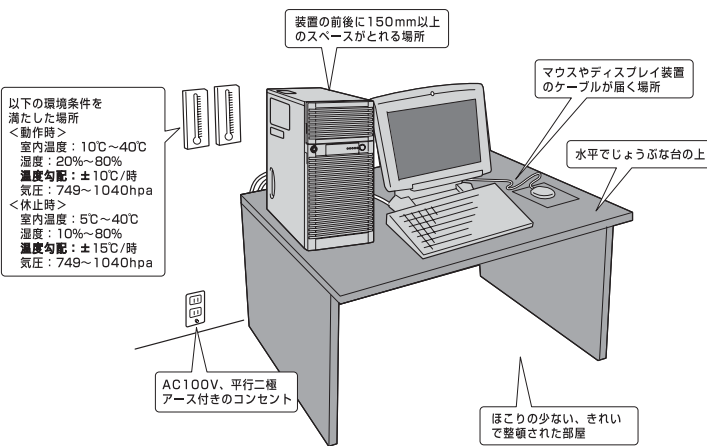
「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け／取り外し」を参照してください。

Step 3 本体を適切な場所に設置する

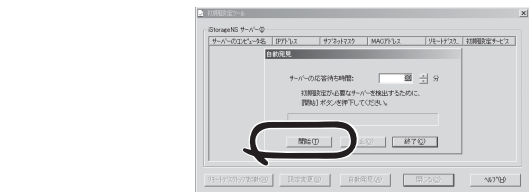
本体の設置場所を決めます。

- 参照

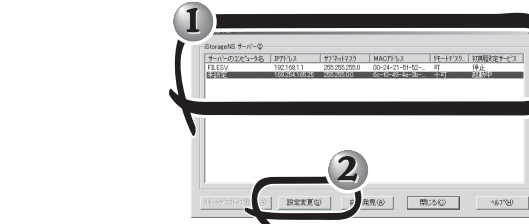
「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



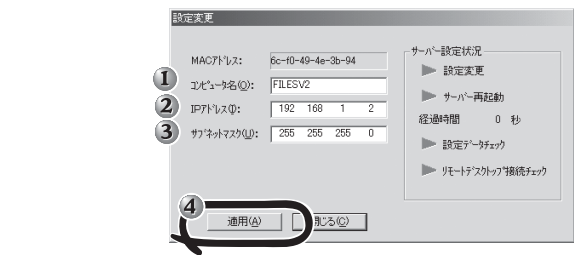
- ④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、**【開始】**をクリックします。
- 対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の[サーバーのコンピュータ名]欄に"未設定"と表示されます。"未設定"のサーバーが検出されましたら、[停止]をクリックして自動発見を停止後、[終了]をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでには、構成によって、20〜30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度[開始]をクリックしてください。



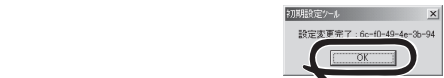
- ⑤ "未設定"のサーバーのリモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、"未設定"のサーバーを選択し、[リモートデスクトップの起動]をクリックして次のステップの③に進みます。「不可」に変わった場合は、"未設定"のサーバーを選択し、[設定変更]をクリックします。



- ⑥ コンピュータ名、IPアドレス、サブネットマスクを入力して**【適用】**をクリックします。



- ⑦ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、**【OK】**をクリックします。
- サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。
- ⑧ 完了メッセージが表示されたら、**【OK】**をクリックします。



Step 7 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCを使用して必要事項を設定します。設定方法の詳細が必要な場合は、管理者ガイドを参照してください。

- ① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックします。

- 重要

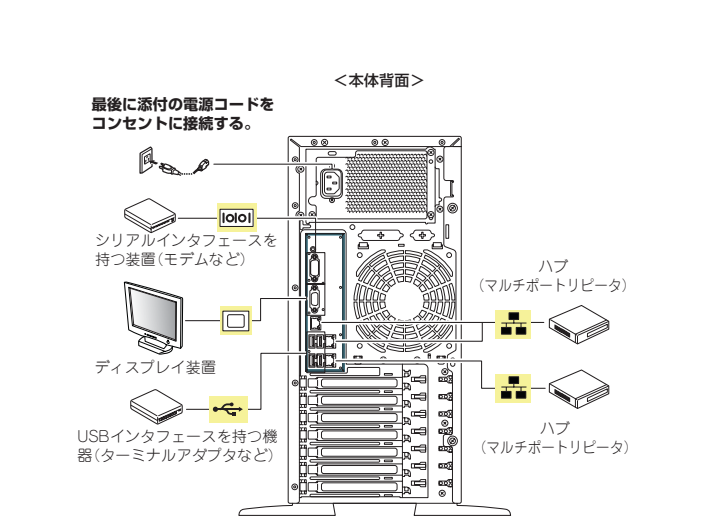
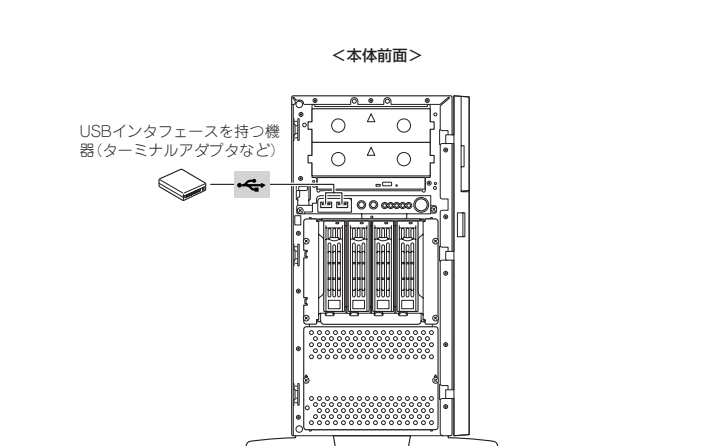
出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。

Step 4 ケーブルを接続する

ネットワークケーブルと付属の電源コードを接続します。

- 参照

詳しくは「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



- 重要

- 本装置に接続するケーブルは、LANケーブルと添付の電源コードのみです。その他のケーブルを接続する必要はありません。また、複数のLANケーブルを接続するときは、まずLANポート1のみに接続して初期設定を行い、設定完了後に残りのコネクタに接続してください。
 - 本装置への各種オプションの取り付け・取り外しは、本書で示すセットアップが完了した後に行ってください。

以上で本体の電源をONにできる状態になりました。

- ④ **【スタート】**-[**Windows セキュリティ**]**をクリックします。**
- ⑤ **【パスワードの変更】**をクリックして、**パスワードの変更**を行います。

- 重要

- 本装置のセキュリティを保つために、出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。
 - パスワードの文字数は6文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。
 - パスワードの有効期限は初期設定では42日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。

- ⑥ 初期設定ツールで使用したポートを閉鎖します。
- 【スタート】**-[**コントロールパネル**]-[**ファイアウォールの状態の確認**]をクリックします。**"Windowsファイアウォール"ウィンドウの左上の[Windowsファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する]をクリックします。**
- "許可されたプログラム"ウィンドウの一覧の"iStraguiv"の左端のチェックをはずし、[OK]をクリックします。**
- ⑦ 初期構成タスク画面が表示されますので、必要事項を設定します。
- * タイムゾーンの設定
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。
 - * コンピュータ名とドメインの入力
初期設定ツールでコンピュータ名を変更していない場合、ドメインに参加する場合は設定してください。
(再起動が必要となります)

Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもRAIDシステムを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは各ソフトウェアのドキュメントを参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。

ESMPRO/ServerAgent をインストールした装置の状態は管理 PC (ESMPRO/ServerManager) のディスプレイから確認することができます。



ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

EXPRESSBUILDER を光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから [ソフトウェアをセットアップする] - 「ESMPRO」の順にクリックします。以降は、画面に表示



Step 5 電源をONにする

電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② 前面のPOWERスイッチを押して電源をONにする。*

* 電源コードを接続したあとは、POWERランプのアンバーが消灯するまでは電源をONしないでください。

- 重要

電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビーブ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビーブ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

Step 6 初期設定をする

管理PCで初期設定ツールを使用し、本装置の初期設定を行います。

初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理 PC (Windows Server 2003/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows XP/Windows Vista/Windowos 7)と添付のEXPRESSBUILDER を使用します。

初期設定に必要な情報として、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「コンピュータ名」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

- * 管理 PC は iStorage NS と同一 LAN 上に存在するコンピューターを使用します。
- * 管理 PC でファイアウォールが有効になっていると、初期設定が正しく行えない場合があります。初期設定ツールで使用するポートをファイアウォールの例外に設定してください。設定方法については、初期設定ツールのヘルプの "検索" タブで「Windows ファイアウォール設定手順書」を検索してください。
- * 初期設定は 1 台ずつ行ってください。
- ① 初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。
EXPRESSBUILDERの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 本体の電源が入っていることを確認し、管理 P C の光ディスクドライブにEXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能によりメニューが表示されます。セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
- ② **【ソフトウェアをセットアップする】**をクリックして、表示されたメニューから**【初期設定ツール】**をクリックします。



- ③ 初回のみ**【ご確認】**の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、**【OK】**をクリックします。

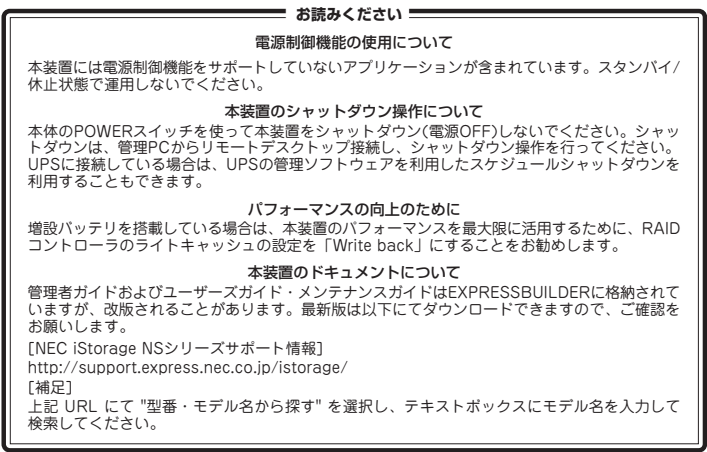


されるメッセージに従ってください。

iStorage NS 連携モジュール

ESMPRO/ServerManager がインストールされている環境に iStorage NS 連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManager より、リモートデスクトップ接続が起動できます。EXPRESSBUILDER を光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから [ソフトウェアをセットアップする] - [iStorage NS 連携モジュール] の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。



iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。
<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>
また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスをご契約いただく、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。
「PP・サポートサービス」の詳細内容については、以下をご覧ください。
[PP・サポートサービス] ご案内のページ
<http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>

お客様登録をする

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。
インターネット (ClubExpressサイト) よりユーザ登録を行ってください。
<http://club.express.nec.co.jp>

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2012
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。